意見交換会報告書

開催日時	令和８年７月９日（木）午後７時０分　　終了：午後８時３０分
開催場所	旭コミュニティセンター
対象団体	旭地区町内会長会
参加人数	１５人
出席議員	横山由裕、平野辰子、原　卓二、谷　健一、木谷和栄、吉本史宏、寺越和洋
役割分担	司会：平野、開会・閉会挨拶：吉本 意見交換　A班：横山、木谷　　B班：原、平野　　C班：寺越、谷

意見交換会テーマ
「旭地区の生活環境・地域活動について」

（意見１）
旭地区には工業団地があり、多くの企業が立地しているが、それぞれが何を製造している企業か分からない。また、造成工事をしているが、区画が小さく寄せ集めの工業団地となっている。国は、国策として産業集積を進めており、周辺の市でも大型投資の話があるが、白山市として取組はないのか。（立地・アクセス・地盤の良さ）

【意見交換会での担当班（議員）の回答】
白山市としても国策で半導体企業を誘致すべきと、議会でも質問している。昨年度、市役所内に誘致プロジェクトチームを立ち上げたと聞いた。議会としても積極的に働きかける。

（意見２）
工業団地の企業がもっと地域との交流を行うべきだが、全くない。

（意見３）
工業団地内にある公園は、草が生い茂り管理されていないように見受けられる。管理はどうなっているのか。

（意見４）
将来の白山市を見据えたまちづくりを行い、工業団地の在り方についても何を目指すのか目的と目標を示してほしい。

（意見５）
地区住民に知らせるため、二次避難施設の備蓄品リストを欲しいと担当課に話したら、リストはあるが公表はしていないと言われた。備蓄品が分からなければ、何を持って避難すればいいのかわからない。リストがあるのに何故出せないのか。

（意見６）
　市民の安全・安心のため、町内会長が避難所のリーダーになったり、リーダーを育成したりすることも必要だが、市職員の中で防災士の資格を持っている方が、１割もいないのはおかしくないか。

（意見７）
　２年前の能登半島地震発災時、津波警報が出されて津波の高さばかりが報道された。しかし、東日本大震災のときは津波が河川を遡上した際の高さが被害を拡大した一因である。市民の安全・安心のために、津波の高さだけでなく、河川を遡上する高さも公表すべき。

（意見８）
　慰霊式の名称変更について、地域住民の方々や参加する小学生等からの意見により追悼式に変更しては。また、土日に開催してはどうか。

（意見９）
　地域の道路整備について、地元負担が大きい。市の負担割合が市道（10 割）・町道（７割）・農道（４割）と修繕の割合があるが、町道や農道の市負担額を引き上げてほしい。

（意見 10 の１）
　除雪について、地域に住む人の力だけで行う除雪は厳しい。生活道路除雪補助をしてほしい。また、除雪機は地区内に適切な保管場所がないため、除雪費の補助をお願いしたい。
（意見 10 の２）
　市で除雪機の購入補助はあるが、除雪機は置き場所やメンテナンスの課題があるので、除雪機リースやレンタルに対する補助があれば、利用しやすい。

（意見 11）
　公園整備について、子育てしやすい市として、公園や晴雨利用できる遊び場の充実を。

（意見 12）
　暑さ対策について、クールシェアは理解できるが、移動の交通機関充実を。

（意見 13）
　松任駅周辺から学生が移動する場合、自転車が必要。

（意見 14）
　外国の方について、ごみ分別等、マナーを守って過ごしてほしい。ＣＣＺなどで集まっているが、子供が近づけない雰囲気がある。白山市でマナー教育をしてほしい。

（意見 15）
めぐーるのバス本数を増やしてほしい。金沢行きの北鉄のバスについても旭地区への乗入れがなくなった。

（意見 16）
移動スーパーが来ない。

（意見 17）
中学生は積雪があると自転車で学校にいけない。冬季のみだけでもバスがあればいい。

（意見 18）
高齢者は自転車も乗れない方もいる。デマンドバスやシェアバスなどできないか。

（意見 19）
イオンモール白山へ行くバスがあると便利。イオンや民間企業がバスを運行する方法もあるのでは。

（意見 20）
市の除雪路線以外のところも除雪に入ってほしい。

（意見 21）
除雪について、町会で業者に委託することを相談しているが、町会の負担が大きいため、除雪費の補助が欲しい。